

内蔵 DAT72 ユニット(PG-DT504D1) ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

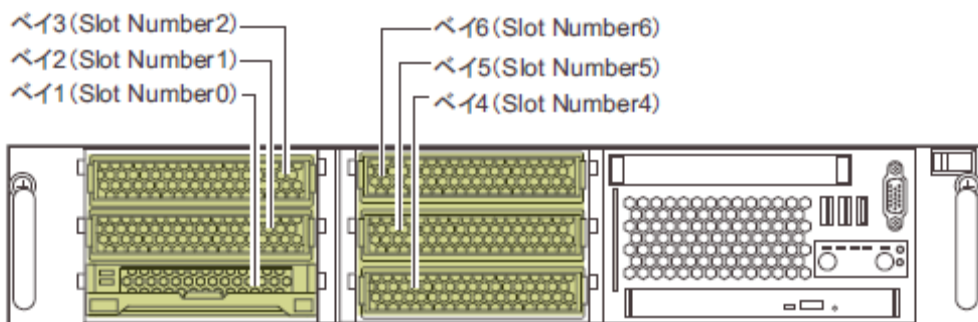
2009年9月
富士通株式会社

1. 「PRIMERGY RX300 S5 3.5 インチタイプ」への取り付けについて

PRIMERGY RX300 S5 ユーザーズガイドを併用しますので、あわせてご用意ください。

1.1 内蔵バックアップ装置の取り付け位置

内蔵バックアップ装置は3.5インチ ストレージベイ 5,6に取り付けます。



重要: 内蔵バックアップ装置は3.5インチ ストレージベイに搭載するため、同時搭載可能な内蔵ハードディスクユニットは最大4台になります。(ベイ1から4を使用)

1.2 使用できる内蔵バックアップ装置

次の内蔵バックアップ装置を取り付けることができます。

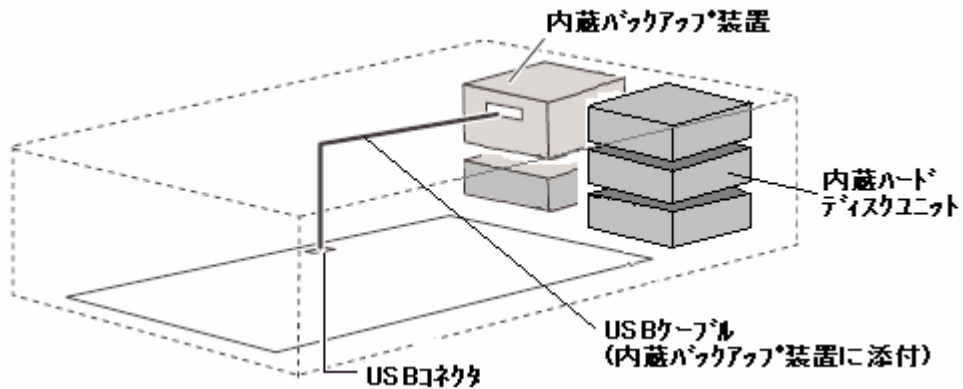
品名	型名	備考
内蔵 DAT72 ユニット(ドライブケージ付き)	PG-DT504D1	USB ケーブル/DC 延長ケーブル添付
内蔵データカートリッジドライブユニット(ドライブケージ付き)	PG-RD102D1	USB/DC ケーブルキット添付

※内蔵 DAT72 ユニット(ドライブケージ付き)の搭載方法について説明します。

なお、内蔵データカートリッジドライブユニット(ドライブケージ付き)の搭載方法については、PG-RD102D1 添付のマニュアルをご確認ください。

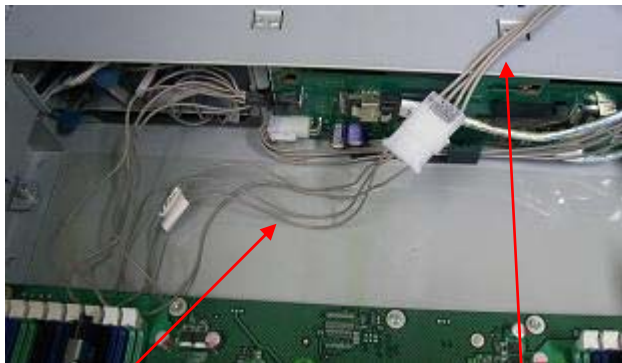
重要: 内蔵バックアップ装置は、ホットスワップ、ホットプラグに対応していません。

■接続例



1.3 内蔵バックアップ装置の取り付け手順

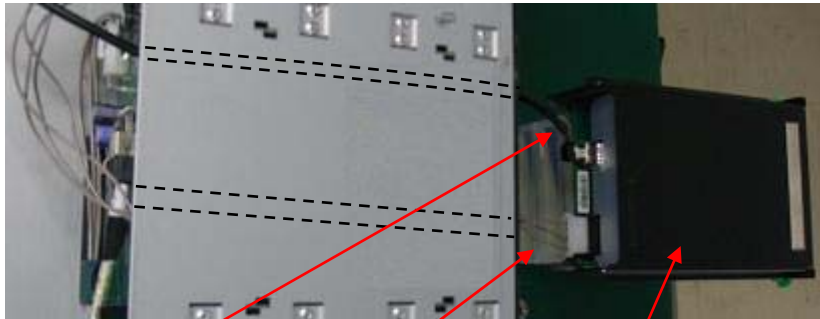
- 1.3.1 PRIMERGY RX300 S5 ユーザーズガイドの 2.7.3 内蔵バックアップ装置の取り付け手順の 1 から 4 に従ってファンケースの取り外しまで実施します。
- 1.3.2 PRIMERGY RX300 S5 ユーザーズガイドの 2.6.3 内蔵ハードディスク装置の取り付け手順の 3 に従い、ストレージベイ 5,6 のダミーユニットを取り外します。
- 1.3.3 DC 延長ケーブルを RX300 S5 の背面側から見て左側にある電源ケーブルに接続します。



電源ケーブル

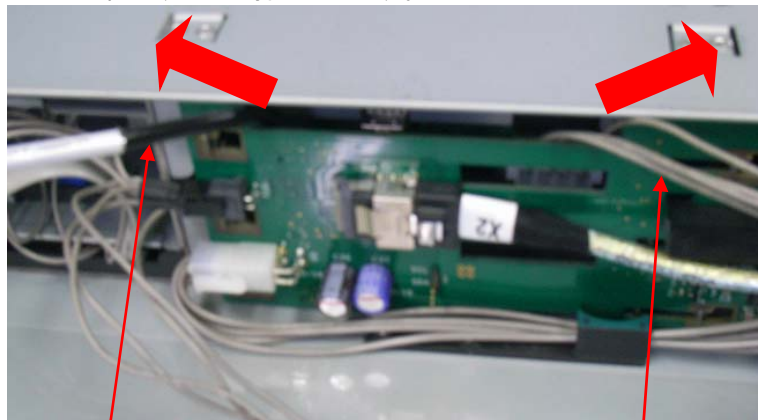
DC 延長ケーブル

- 1.3.4 USB ケーブル及び DC 延長ケーブルを SAS-BP 上部のすき間を通し、内蔵 DAT72 ユニット (ドライブ ケージ付き) に接続します。



USB ケーブル DC 延長ケーブル 内蔵 DAT72 ユニット

- 1.3.5 RX300 S5 の背面側から見て、USB ケーブルを左上方向に、DC 延長ケーブルを右上方向に軽く引きながら、内蔵 DAT72 ユニット (ドライブ ケージ付き) をストレージベイ 5,6 にスライドさせカチッと音がするまで押し込みます。



USB ケーブル

DC 延長ケーブル

- 1.3.6 PRIMERGY RX300 S5 ユーザーズガイドの 2.7.3 内蔵バックアップ装置の取り付け手順の 9 に従い、USB ケーブルをメインボードの USB コネクタに接続します。

Point: ケーブル類はサーバ側面部にまとめます。

- 1.3.7 PRIMERGY RX300 S5 ユーザーズガイドの 2.7.3 内蔵バックアップ装置の取り付け手順の 10,11 に従い、ラック取り付けまで実施して完了です。

1.4 内蔵バックアップ装置の取り外し手順

内蔵バックアップ装置の取り外しは、取り付けと逆の手順で行います。

2.「内蔵データカートリッジドライブユニット取扱説明書」の誤記訂正について

次の表の通り、外形寸法及び質量について誤記訂正します。

	正	誤
外形寸法[mm]	3.5 インチベイ搭載用(ドライブケース付): 横幅 117.2×高さ 53.7×奥行き 171.9	3.5 インチベイ搭載用(ドライブケース付): 横幅 117×高さ 53×奥行き 184
質量[kg]	3.5 インチベイ搭載用(ドライブケース付):1.15	3.5 インチベイ搭載用(ドライブケース付):1.14

以上